

支援プログラム（参考様式）

法人（事業所）理念		その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする								
支援方針		・ 児童の自信につなげるため、興味のあること、得意なことを見出し伸ばす『強みを見つけ、伸ばす』 ・ その児童の生活環境を豊かにするために地域の社会資源を理解、把握する『社会資源の情報収集』 ・ 進路及び就労システムを理解し、将来への情報提供を行う『進路、就労への情報収集』 ・ 二次障害を理解し省く支援を行う『あらゆる環境を把握し、二次障害を省く』								
営業時間（平日）		11 時	00 分	から	20 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
営業時間（学校休業日）		10 時	00 分	から	19 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康状態や生活スキルに基づき、個別にカスタマイズされたプログラムを提供する。活動に際し、支援員がマンツーマンでサポートし、適切な指導を行う。個別の計画書を作成し、定期的に評価・更新を行い、最適な支援を提供する。また、緊急対応プランを準備し、特定の緊急事態に応じた対応策を実施する。								
	運動・感覚	個々の発達レベルに応じて、個別のバランス感覚や手先の感覚トレーニングプランを立て、支援員が個別にサポートを行う。バランストレーニングや手先の器用さを高めるため、適宜指導を提供する。さらに、身体全体の調整や感覚統合の発達に応じた活動を設計し、必要に応じて助言を与える。微細運動能力の向上を目指し、個別のプログラムを実施し、支援員が適切な指導を行う。								
	認知・行動	個々の興味や能力に応じて、個別にカスタマイズされた活動を提供する。ビジョントレーニングやコグニティブトレーニングにおいては、テーマや教材を選定し、思考力トレーニングやパズル・ボードゲーム等、適切な課題や難易度を設ける。クイズやトリビアにおいては、記憶力や興味に合わせて提供する。ロールプレイやシミュレーションにおいては、社会的スキルや行動特性に基づくシナリオを実施し、成長を支援する。								
	言語 コミュニケーション	個々の興味や能力に応じて、個別に支援を行う。コミュニケーションにおいては、理解度に応じたトレーニングを提供、コミュニケーションボードや視覚支援を活用している。SSTソーシャルスキルワークシートを用いて社会的スキルを高める。読み書き能力に応じた教材を準備し、学習スタイルに合わせた支援を行う。								
	人間関係 社会性	個々の特性に応じて、興味やニーズに合わせた支援を提供する。対人スキルトレーニングも個別にカスタマイズする。また、自己理解や情動調整の支援も、個別に行い、特定の感情や行動への対処方法が学べるようサポートする。								
家族支援		家族への相談や助言を通じて、児童の成長や家庭での支援をサポートする。保護者が安心して子育てできるよう情報提供や心の支えとなる支援を行う。					移行支援	移行に向けた就学先との調整、就学先との支援内容等の情報共有や支援方法の伝達、受入体制づくりへの協力や相談援助への対応等の支援を行う。		
地域支援・地域連携		地域の資源を活用し、学びやレクリエーションの場を提供する。地域イベントや教育機関と連携し、社会参加を促進。さらに、自治体や関連団体とのネットワークを構築し、本人・家族が安心して地域で暮らせる環境作りを目指す。					職員の質の向上	職員の専門知識や支援技術向上を目的とした研修を実施し、最新の支援方法や情報を共有する。定期的な振り返りやフィードバックを通じて、より質の高い支援を提供できる職員の育成を支援する。		
主な行事等		・ 長期休暇期間での工作 ・ 誕生日を祝う（自身の生誕を喜ぶ） ・ 漢字検定、英語検定の受験サポート								